

ひがしどおり 議会だより

No. 6 5



ひがしどおり来さまいフェスタ

◆8月定例会のあらまし……②

◆一般質問……④～⑤

◆主な議案の審議結果……③

◆議会の活動報告……⑤～⑥

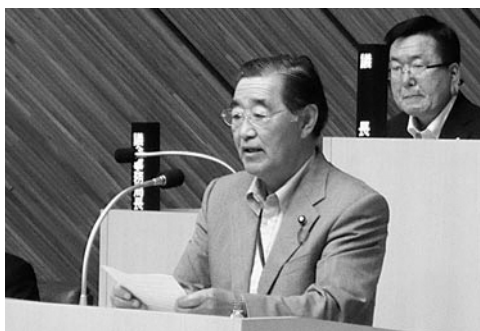
第三回定例会開会



平成30年8月第三回定例会
が8月30日開会し、9月6
日まで8日間の会期で開催
されました。

本定例会には、村長より提
案された、人事案件2件、条
例改正1件、決算の認定2件、
報告案件3件、補正予算案件

渡部総務企画常任委員長の委員会報告



相内議会運営委員長の委員会報告



2件、契約案件2件の計12案
件が一括上程され、審議の結
果、全会一致で可決・承認さ
れました。
また、本定例会においては
1名の議員による一般質問
が行われました。

決算監査報告

「白濱清修」代表監査委員
より、平成二十九年度の決算
監査報告がありました。

審査結果は、各会計とも関
係法令に基づき調製されて
おり、計数的にも正確である
と認定されました。また、財
政健全化並びに経営健全化
審査については、村長より審
査に付された、普通会計にお



監査報告を述べる 白濱清修 代表監査委員

ける財政健全化判断比率及
び、その算定の基礎となる実
質赤字比率・連結実質比率・
実質公債費比率及び将来負
担比率は、「早期健全化基準」
また、公営企業、いわゆる水
道事業会計及び下水道事業
特別会計における経営健全
化の資金不足比率について
も「経営健全化基準」に該当
しないとの審査報告があり
ました。

議案の審議結果

議案番号	議 案 名	可決内容
議案第25号	東通村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	「北川幹雄」氏の再任に同意
議案第26号	人権擁護委員候補者の推薦について	「坂本昭義」氏を適任と答申
議案第27号	東通村消防団員の定員・任免・服務等に関する条例の一部を改正する条例	条例に災害支援団員を加える
議案第28号	平成29年度東通村一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案のとおり認定（詳細については、広報ひがしどおり10月号に掲載）
議案第29号	平成29年度東通村水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案のとおり認定
報告第12号	平成29年度東通村一般会計継続費清算報告書	報告済みとする
報告第13号	平成29年度東通村一般会計等の決算に基づく健全化判断比率	報告済みとする
報告第14号	平成29年度東通村公営企業会計の決算に基づく資金不足比率	報告済みとする
議案第30号	平成30年度東通村一般会計補正予算（第2号）	八千百七十万円追加補正
議案第31号	平成30年度東通村介護保険特別会計補正予算（第1号）	三千五百二十万円追加補正
議案第32号	東通村災害対策本部室等放射線防護対策工事請負契約について	野村建設株式会社と三億六千八百二十八万円にて本契約締結
議案第33号	海水取水設備等設置工事請負契約について	野村建設株式会社と四億六千九百八十万円にて本契約締結
陳情第5号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書（移植ツーリズムを考える会）	資料配布

南地区製氷センター

南地区製氷センターは、平成28年度及び平成29年度の継続事業として、白糠漁港内に、事業費約10億9千2百20万円を投じて建設されました。

当施設の製氷能力は日産26tであり、これまでの製氷施設の能力を上回り、水産物の鮮度維持に大きく貢献するものと期待されます。



主要な事業の概要

一般質問とは

議員が、村長に行政全般に亘る質問や、説明を求めたりすることで、定例会に於いて行われます。

【質問者】 田村智和 議員

- 一、東通村民所得の向上を図っていく取組について
- 二、東通村の地域コミュニティの現状と対策について

【質問】

1点目の、村民所得の向上を図っていく取組についての村の基本的な考えを問う。

また、所得向上を図るためには、村内に働く場をつくることが不可欠であると考えますが、新規企業誘致や新たに働く場をつくる対策について村の考えを伺いたい。



2点目の、地域のコミュニティの現状と対策について伺う。広辞苑によれば、コミュニティとは、一定の地域に居住し、所属感情を持つ人々の集団、地域社会、共同体と定義されている。

現在、村の各集落は人口減少と高齢化により、限界集落になりつつあり、地域のコミュニティが維持できなくなるという危惧されるが、村の対策を伺いたい。

【答弁】 越善 村長

★1点目の答弁

東通村の人口一人当たりの村民所得額は、平成19年度の

440万5千円をピークに、平成27年度は248万5千円と、大幅に減少している。

この主な要因は、雇用者報酬や財産所得と共に、企業所得が算定に反映されることから、東日本大震災に伴う東北電力1号機の稼働停止により、企業所得が大幅に減少したことが主因である。

村民所得は、原子力発電所の動向により大きく増減するが、私としては村民所得の向上を図るためには、村の基幹産業である第1次産業の振興により、安定的な収入基盤を確立し、また原子力との共生のもとで、原子力関連産業の創出と地元資本企業の育成を図り、多様な雇用の場を創出し村民が村外に流出することなく、それぞれの適性の見合った職種を選択して、収入を得ることができる場を確保し、村民所得の向上に繋げていくことを基本的な考えとしていく。まず、農業については村で振興している東通そば・ブルーベリー・東通牛の産地化を進め、冬期間の安定的な収入を確保するため、付加価値を高めた、寒締め野菜の「寒立菜」（かんだちな）等の畑作園芸野菜の推進や花卉（かき）栽培導入を図るべく、栽培技術の試験研究に新たに取組んでいるところである。

一方の水産業については、つくり育てる漁業を目指し、種苗放流事業を継続して漁獲量を高めることを基本としながら、新たに天然ヒラメのブランド化と、高付加価値を図るため、神経メ等の技法を確立させると共に、天然ヒラメ刺身重を開発して、生産と消費を連動させ、漁業所得の向上に結び付けていきたい。



次に、新規企業誘致や、働く場の創設については、まず村内の事業所数は、平成13年度の350社をピークに、平成26年度には270社に減少しているが、雇用者数については、2,500人程度の横ばいで推移している。

村としては、最大の誘致企業である東北電力1号機の再稼働及び東京電力1号機の工事再開が、多様な原子力関連企業の立地並びに地元資本企業の育成と企業財務の強化に繋がると共に、落ち込んだ卸売・小売業やサービス業の立地回復に寄与するものと考えており、原子力との共生により雇用場を確保していくことを第一義としている。

また一方で、原子力関連産業のみに頼らない新たな分野の企業を誘致し、多様な雇用の場に繋げる必要があると考えている。村では現在、廃校舎を活用した企業誘致の取組を図っており、これまでIT企業等のコールセンターやマーケティングセンター、被服製造業、LEDを活用した

一般質問

野菜工場、食肉製造業等を対象とした現地視察会の開催や木工品製造業者、水産・農産加工業者への訪問活動についても積極的に進めているところであり、引き続き関係機関と連携しながら、企業誘致を図っていく。

★2点目の答弁

村の地域コミュニティの現状については、過疎化等により人口の50%が65歳以上となる、いわゆる限界集落と定義される集落は6集落あり、数年後に限界集落に成りうる可能性が高い準限界集落は15集落で、村内の3分の2の集落で、共同体としての機能維持が限界に達している状況にあり、このことは将来的な村の存続にも甚大な影響を及ぼすものと考えている。

このような、人口減少や高齢化に伴う地域コミュニティのあり方は、首都圏を除く全国の多くの自治体が抱える共通課題であるが、村では平成27年度に策定した、東通村まち・ひと・しごと創生総合

戦略に基づき、各種事業の着実な実行により当課題を乗り越えていきたい。そのためには、集落の実態を適切に捉えて中長期的な視点を持ち、また、集落機能を維持するための活動に、村が直接的に支援していく必要があると考える。

いずれにしても、各集落の実態とニーズを把握して、必要とする支援制度を設計し、集落との連携を密にして、コミュニティ活動や、機能維持に全力で取り組んで参る。

【再質問】田村議員

これまでの、私の質問に対する村長の答弁の中には、原子力発電所の再稼動と建設工事が再開されれば、村発展に繋がるとの答弁が数多くありました。未だ原子力発電所は停止したままであり、先行き不透明である。このまま時だけが経過することにより、電気を当たり前のよう使用し、不足を感じない生活の中で、電気供給地のことや、原子力発電所の停止していることなど、次第に忘れ去られる

のではと危惧します。

これまでは、原子力事業に支えられてきましたが、今後は、原子力事業と村は互いに自立し合い、そのうえで共生することが大切と考えるが、村長の考えを伺いたい。

また、若者のみならず女性から高齢者まで、身近に働くことができる場の提供や、企業誘致により村民所得の向上を図り、地域のコミュニティを守る建設的施策が村長にあるのか伺いたい。

【再答弁】越善村長

原子力発電所の再稼動・工事再開の間までの対策として、事業者へは対策を講じて頂きたいと再三に亘り要望し、さらに国へは、新たな財源措置の支援を要望しており、引き続き国・事業者へ問題を提起し、議会と一体となって取り組んで行く所存である。また、地域のコミュニティの維持についても、各集落の長い歴史と経緯を踏まえて、しっかりと話し合いをしながら進めて参りたい。

議会の活動報告

県下町村議会議員研修

7月12日、青森市民ホールにおいて、県下町村議会議員研修会が開催されました。

今年は、テレビでもおなじみの、読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏を講師に迎え、「今後の政局・政治の動きを読む」と題した講演が行われました。

講師の橋本五郎氏



橋本氏は、母親からの教えである、「何事も全力を尽くせ」「常に謙虚であれ」を引

き合いに、国政、地方政治を担う議員の心構え・姿勢について熱弁され、感動を憶えた研修会でありました。

また、翌日の13日は、五所川原市役所新庁舎の見学を行い、本年度の県下町村議員研修日程を終えました。



新市役所庁舎



市議会会議場見学

議会の動き

7月1日(日)	横浜町町制施行60周年記念式典	丹内議長	横浜町中学校
7日(土)	こども園ひがしどおり運動会	議員全員	体育館
10日～11日	全国原子力発電所立地市町村議会議長会	丹内議長	東京都／都市センターホテル
12日～13日	県下町村議会議員研修	議員全員	青森市・五所川原市
22日(日)	第5回リスクコミュニケーション講演会	議員全員	村オフサイトセンター
24日(火)	下北総合開発期成同盟会の県知事重点要望	丹内議長	青森県庁
29日(日)	第50回東通村畜産共進会	議員全員	村営第2牧場外
8月3日(金)	東北ジオパークフォーラム in 下北ジオパーク	丹内議長	むつプラザホテル
7日(火)	六ヶ所村・横浜町・野辺地町との議員研修交流会	議員全員	あわび種苗センター
17日(金)	総務企画常任委員会	委員全員・議長	委員会室
24日(金)	議会全員協議会・議会運営委員会	議員全員	議場・委員会室
25日～26日	ひがしどおり来さまいフェスタ	議員全員	会場
29日(水)	東栄部落開拓入植60周年記念祝賀会	議員全員	むつグランドホテル
30日(木)	第3回定例会招集	議員全員	議場
9月3日(月)	第65回東通村戦没者追悼式	議員全員	体育館駐車場
5日(水)	定例会本会議（一般質問、質疑・採決）	議員全員	議場
6日(木)	定例会本会議（質疑・採決）	議員全員	議場
10日(月)	交通安全地区大会	議員全員	砂子又集会場
13日(木)	東通村いきいき健康長寿の集い	議員全員	体育館
24日(月)	大間町役場庁舎落成記念祝賀会	丹内議長	大間町
26日(水)	特養老人ホーム「いちいの森」落成記念祝賀会	議員全員	むつグリーンホテル

ご参加の皆様には、あいにくの雨の中大変お疲れ様でした。



来さまいフェスタの一場面

編集後記

前回の議会だより64号では自然災害、防災について触れましたが、今年は7月の西日本豪雨により大きな被害が発生し、その後は異常な猛暑日が連続し、更には追い打ちをかけるように、猛烈な台風21号による高潮の発生により、関西国際空港の冠水や連絡橋へのタンカーの衝突は皆様の記憶にまだ鮮明のことと思います。

また、間を置かず9月6日には北海道胆振東部地震が発生し、土砂崩れにより多くの人命が失われ、加えて大規模停電など、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。ところで、今定例会では奇しくも災害時の救助等に活動する「災害支援団員」制度の導入が決定されたところでありますが、「備えあれば憂いなし」の格言のとおり、一人ひとりの日頃からの心構えや準備が、ひいては防災・減災に繋がります。今日からでも、まずは出来ることから始めましょう。

今回の議会だより65号は、教育民生常任委員会が担当しました。議会傍聴者の皆様には、本紙面にてお礼申し上げます。